



宗像市大島では、持続可能な公共交通体系の構築を目指し、AI オンデマンドバス「のるーと」の運行を10月1日(水)から開始します。

大島は、高齢化率が47.0%(8月末時点)と高い一方、年間約10万人が訪れる観光地です。しかし、島民の通院や買い物の足だったタクシーの運休や1日7便運行する観光バスの撤退により、島民の移動手段確保と観光客の利便性の確保が課題となっていました。

これらの課題を解決するため、AI が効率的な配車・運行を行う「のるーと」を導入します。これにより、島民の移動環境を確保し、さらに観光客の島内周遊性を高め、これまでアクセスが難しかった大島灯台や宗像大島リゾートなど、島の西側にもスムーズに移動できるようになります。

「のるーと」は、持続可能な公共交通として、島民と観光客双方の利便性を高め、大島のにぎわい創出に貢献します。

【運行内容】

運行時間：8時15分～17時(平日1台・土日祝2台運行)

※運休日12月31日～1月3日

乗降地点：島内32ヶ所

運賃：1乗車あたり300円 ※1日乗車券や割引あり

支払方法：現金・交通系IC・クレジットカード

予約方法：アプリまたは電話(乗車7日前から予約可能)



《詳細》



《島内を運行する2台の車両》

【問い合わせ先】

宗像市元気な島づくり課 担当：川瀬・丸井 TEL:0940-72-2211